

11月号
VOL. 475

土會奈良



日本聖公会 高田基督教会

日本聖公会 八木基督教会



日本聖公会 桜井聖保羅教会

SHIKAI
2013 NARA

表紙のことば

奈良の近代化遺産 5 ・
日本聖公会の教会堂たち



聖公会はキリスト教の一派である団体で、16世紀、宗教改革の中からイギリスで生まれた宗派で「英国教会」などとも称されて世界各地に信者が居られる。

日本で宣教が始まったのは1859年（安政6年）というから150年以上も前の事。

日本聖公会は広く全国に布教され、関連施設には立教大学や聖路加病院などもあるそうです。

教会堂は300以上あり、登録有形文化財等に指定されているものも数多く、その他にもレーモンド設計の札幌聖ミカエル教会やA.C.ショー設計による軽井沢のショウー記念礼拝堂など名建築も多くあります。

奈良県下にもいくつかの教会堂が現存し、中でも興福寺境内に隣接する奈良基督教会は木造純和風教会堂として広く知られています。

今回ご案内するのは、高田、八木、桜井にある3つの小さな教会。

明治20年築の高田基督教会はその後に改修されましたが2／3は建設当初の姿を維持し、小屋組みのハンマービームトラスが特徴です。

八木基督教会は中之島図書館などの設計に関与した住友宮繕部の光安梶之助の設計によるとされています。

桜井聖保羅教会は奈良で最も古いキリスト教会建築と言われ、礼拝堂を改築し1階部分を保育園として使用されています。

どれも愛おしい佇まいで好感がもてる建築。そんなふうに感じるのは地域の人々に大切にされてきたからでしょう。

（記・中尾克治）

写真提供：公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部 奈良地域会

情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治		
職務代理			
副委員長	田上 圭吾	折目 貴司	
委員	乾井 哲	岩城由里子	
	鶴山 治	小松原寛俊	
	崎山 泰正	辻 元二	
	福西 保夫	福本 保治	
	宮浦 重彦	森馬 康之	

Contents

001

「HANARART2013 in 桜井本町
予告」

002

「HANARART2013 in 郡山城下町
レポート」

003

「インターンシップレポート
設計事務所」

004

「インターンシップレポート
建設会社」

005

青年委員会
「夏の自然観察会 レポート」
「大和さくらい万葉まつり レポート」

006

青年委員会
「三重県建築士会合同見学会 レポート」
「大人の工場見学会」案内

007

「大和・町家サブリース PROJECT
の紹介 in 郡山城下町」

008

教育事業委員会・
女性委員会・青年委員会
『初秋の美を巡る信州旅』
～美しいまちなみ&心休まる
自然の中の美術館～

009

「第33回近畿建築祭 大阪大会」案内

011

奈良支部
「国宝薬師寺見学会レポート」

012

お知らせ
「次期会長推薦の手続きについて」他

『奈良・町家の芸術祭 HANARART2013』のお知らせ —桜井本町(さくらあと)—

【基本情報】

- 開催期間：11月16日(土)～26日(火)
- 開催場所：桜井市本町通り商店街～市図書館～等彌神社
- 専用iセンター：メンズショップオカモト(桜井855)



〈お問合せ〉
専用TEL
0744-45-1322
OPEN 10～18時
定休日：水曜日

- 目的：多種多様な人が、本イベントに取り組む過程で、魅力ある町家の良さを発見・再発見する。その中で次世代が住みたいまち・住民にとって次世代に住んでもらいたいまちになるよう、また、空き町家・空き店舗の無い、安全安心かつ良好な景観と歴史的文化価値を有する誇りあるまちを後世へ継承していく
- 主催者：桜井市本町・周辺まちづくり協議会
- 主な協力者：奈良県立大学(古山ゼミ)、大阪工業大学(林田ゼミ)、大阪芸術大学(大橋ゼミ)、等彌神社宮司
- 特色：『さくらあと』= 3つのイベントをコラボした通称
地域住民・まちづくり団体・大学・行政・企業が連携し、
周辺の地域資源を活かしながら町並みと動線で結ぶ＝
①HANARART + ②記紀万葉プロジェクト + ③等彌神社
町家芸術祭 記紀万葉：古代へ誘う光の道 献灯祭

【プロセス】空き町家の調査～設計～改修～活用

えあ(アーティストレジデンス)会場として空町家改修
参加アーティスト：厚芝ひろみ、中田桃子(桜井市在住)



佐藤邸の改修前後模型



えあ会場：佐藤邸

〈会場提供〉
氏神宮司のお父さんが無償提供
↓
〈現地調査〉
大阪工業大学が現寸調査(6月)
↓
〈ワークショップ〉
デザインWS
アーティスト&協議会メンバー&大学参加(7月)
↓
〈改修案作成〉
大阪工業大学が模型作成(8月)
↓
〈修景改修〉
地元職人が活躍(9～10月)

【内容紹介】

①HANARART(町家芸術祭)
文芸評論家(故)保田與重郎氏の生家も作品展示会場の1つです。その他、作家達が、お土産物の新商品開発として、アートカレンダーを作成販売。実行委員会では三輪そうめんを加工したお菓子も開発中です。イベントを観光産業に繋げようと日々楽しんでいます。



②町並みと神社境内ライトアップ(古代へ誘う光の道)
地場産業：松曲輪を使った手作りライトをみんなで作成し、住民参加でライトアップ。



③等彌神社ライトアップ
神社境内は夜の紅葉が楽しめます。他、来迎寺境内では、大阪芸術大学が作品展示をします。



【今後の展望】

- アーケードを撤去し、町並みを修景していく商店街まちづくり事業(経済産業省採択済)
 - ・11月～桜井市本町通り2丁目のアーケードを撤去
 - ・アーケード撤去後、桜井市本町通りの景観重点形成区域において、デザインコードづくりが必要となる
⇒今後、建築士の関与が求められる
 - エリアマネジメントに取り組む
奈良県エリアマネジメント推進事業(応募申請中)
 - ・本町通りの空き町家、空き店舗を利活用
 - ・桜井駅南口の地権者と空き店舗対策に取り組む
 - ・ファンドの仕組みづくり(明治大学連携予定)
 - まちづくり拠点整備(市民活動交流拠点を成長する)
 - ・地の拠点整備事業(文科省採択済：奈良県立大学)
 - ・エリアマネジメントの拠点の役割も担う
 - ・駅前エルト2階に奈良県立大学のサテライト設置し、市と連携し地域の課題解決に大学に関与していただく
 - 若手人材育成(まほろばナビゲーター)
 - ・地域資源(歴史的文化遺産・地場産業)を活かした観光ルートづくりと若手人材雇用
- どうぞ皆様、等彌神社の紅葉、立派な木造建築である来迎寺、伝統的な町家～昭和レトロなおしゃれな町家まで、是非、現代アート作品と共に楽しみにお越しください。
(記・建築士会桜井支部 中尾七隆)



『奈良・町家の芸術祭 HANARART2013』のレポート —郡山箱本13町の歴史的建造物調査結果などをパネル展示— 玉手箱プロジェクトに参加

今年で3回目を迎えている『奈良・町家の芸術祭 HANARART2013』（9月号p5参照）の玉手箱プロジェクトに、奈良建築士会郡山支部の「郡山城下町建物探訪」部会メンバーにて参加しましたので、ここに報告します。

今年の『HANARART』は、公式現代アート展の開催される「こあ」が、我々のホームグラウンドである城下町郡山で開催されるということもあり、郡山支部ではいつもに増して芸術祭の盛り上がりを予想・期待していました。昨年度は、地元「やまと郡山城ホール」にて1日だけのパネル展示を開催し、それなりの反響を得ましたが、もっともっと城下町の町家の状況を皆さんに知っていただきたい、という思いは、調査を重ねるに連れ、それぞれの胸の中で高まっていました。

幸いにも『HANARART』では、現代アートに収まらない表現と地域のお宝を紹介できる「玉手箱プロジェクト」という枠があり、柳町商店街にある老舗和菓子屋「本家菊屋（本店）」横の「菊寿亭」2階の展示室をお借りすることでもでき、チャンスを逃すな！との支部長の号令のもと、パネル展示が開催されました。



「菊寿亭」2階展示室と
建物入口設置の案内パネル

パネル展示を行った内容は、本誌9月号（VOL.474）にてご報告した概要プラスアルファになります。

- ・城下町郡山の箱本13町に残る町家の状況
- ・箱本13町で取り壊しが進む歴史的建造物
- ・箱本13町各地区ごとの写真と調査概要
- ・『堺町の町家再生・活用』を提案（平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）
- ・丹波篠山の町家利活用調査
- ・2012年に撮影した「まち歩き」の動画放映
- ・町家のクラフト模型の展示



準備を終えてのミーティング風景

パネル展示は、『HANARART2013』郡山城下町の開催期間である10月12日（土）～20日（日）の10時～17時に開催しました。開催が長期に渡るため、当番表を作成し分担して店番を行いました。私自身は2日間の担当しかできなかったのですが、大阪をはじめ遠方からもたくさんの方が『HANARART』を目指して大和郡山まで足を運んでくださることを強く感じる事ができました。特に、20代の若者や、また女性の「町家」「アート」に対する感度の高さは今更ながら注目に値することであると感じています。また、古くからの建物が失われることを惜しむ声も多くの世代から聞こえてきました。

そんな感度の高い方々に出会うと、士会メンバーの説明もついつい熱くなってしまうような状況でした。





インターンシップレポート1 ～設計事務所～

さて、ここまでは「パネル展示」ことばかり書き連ねてきました。ここで少しばかりですが、町の様子もご報告。

「町家の芸術祭」という言葉のとおり、歴史のある建築「町家」と現代アートという「芸術」には不思議な親和性があり、融合したときに単体よりもヒトの奥深くに訴えかけてくるものがあると、私のような者でも感じています。地域住民も観光客もアーティストも建築のアーキテクトも……多くの人々が根っこに近い部分でつながるための不思議な舞台装置。『HANARART2013』郡山城内町の賑わいは、その可能性を示唆しているように思えました。



「菊寿亭」前の通りを練り歩く柳神くん山車。柳町商店街で初の歩行者天国の試みであり、数十年ぶりの山車巡行に、子どもたちや地元の方々の笑顔があふれる。



いつもと違う「玉井時計店」 「元星野美容室」



洞泉寺の町家にて

「旧日本郵」も非日常の世界
(記・郡山支部 折目貴司)

畿央大学健康科学部 人間環境デザイン学科
谷川彩理

十三日間にわたり、インターンシップに参加させていただきました。

大学の課題とは規模の異なる図面を見せていただいたり、現場見学をさせていただいたり、普段は経験することのできない貴重な体験をさせていただきました。体験中、私は設計に対して、今までとは違った魅力を感じました。大学の設計課題では、個人で作業を進めることがほとんどですが、実際の設計には様々な業務があり、たくさんの方が携わっておられるということを知りました。

また、計画したものが実際に形になっていくということにも魅力を感じました。体験中にスタディ模型を作らせていただいた物件が、何年後かに完成するそうなので、とても楽しみです。完成した頃には、ぜひ行ってみようと思います。

今まで漠然ととらえていた設計というものが、より身近に、魅力的に感じた十三日間でした。この経験を今後に生かし、がんばっていこうと思います。ありがとうございました。

(インターンシップ先—(株)福本設計)

畿央大学健康科学部 人間環境デザイン学科
上川樹果

あっという間のようで多くの事を学ばせていただいた十三日間でした。

このインターンシップ期間で漠然としたイメージだった設計という仕事をより身近に感じるようになりました。

まず、一つ一つの物件に携わる人数の多さ、またその期間の長さに驚きました。実際に完成している物件がどのような工程を経て建ったのか、どのような業種の人がかかわっていたのか、ということは普段大学ではなかなか知ることのできない知識でインターンシップならではの経験だと思いました。また、大学の課題ではない、自分が関わらせていただいた物件が実際に建つという事がやはり大変嬉しく感じられました。今回関わらせていただいた物件が完成したらぜひ見に行ってみたくと思っています。

このインターンシップを通して学んだ事、経験した事、気付いたことを活かし、より一層多くの事を学びたいと考えています。ありがとうございました。

(インターンシップ先—(株)福本設計)



インターンシップレポート2 ～建設会社～

大阪工業大学工学部建築学科3年生 福岡郁美

10日間という短い時間の中で、大学の授業では学ぶことのできない様々な体験をさせていただきました。なかでも施工中の現場や耐震改修の現場で、わからない点を丁寧に教えていただいた事は、私の中でとても強く印象に残りました。4日間で小学校の耐震改修現場・工場の新築工事と2つの現場を体験し、1つの建物をたくさんの人たちが共に作り上げていく工程を間近で見て、現場監督という仕事・その建物に関わる多くの職人さんたちとのつながりを知ることができました。また三輪のまちづくりのプロジェクトのお話を伺ったり、桜井のまちづくりの講演会に参加したりと、私がいま最も興味のあるまちづくりに関わるプログラムを経験することができ、将来このような仕事に関われたらいいなという思いがより一層強くなりました。インターンシップで感じたこと・学んだことを自分の中でしっかりと吸収し、これからに生かしていきたいです。



大阪工業大学工学部建築学科3年生 川添千紘

8月20日～30日のうちの10日間、インターンシップ生として株式会社中尾組様にお世話になりました。ワークショップ体験に始まり、壁量の算出、図面の製本、工事写真の撮り方などの実務や建設業界の仕組みなど、大学の講義では学べないことを知ることができ期間中は毎日がとても新鮮でした。一方、木造改修工事・木造新築工事・S造新築工事・RC造耐震工事などの様々な建築工事現場を見学させて頂いたことで、大学で学んだ知識が現場でどのように使われているのかを実感することで理解を深めることができました。社会で働き続けるためには努力と安全性とコミュニケーションを怠ってはならないということもひしひしと感じました。何よりも、実際に現場で働いている方々とのお話は、建築に対する視野が広がり将来の方向性を決める大きなきっかけとなりました。これからもこの経験を活かし、頑張っていきたいと思います。



畿央大学人間環境デザイン学科3年生 永島舞・藤本優美

今回、私達はインターンシップ生として株式会社中尾組さんでお世話になりました。10日間という短い期間ではありましたが様々なことを学ばせて頂きました。

一番強く感じたことは、設計をする上で現場に出ることは大事だということです。その理由は、紙上で描いたものは実際にそのまま仕上がるわけではないからです。ある改修工事の現場に連れて行って頂いた際、その現場では、土台が入っていないという現象、布基礎が無いという現象が起きていました。そのために、図面を変更する必要があったのですが、現場に慣れているとこういう場合、どういうふうに自分が対処すればいいのかが分かります。図面を数多く描くことだけではなく、現場での経験を積むことが良い建物を造る上で大切なのだと思いました。



二番目に強く感じたことは、大学で学んでいることは重要だということです。説明して頂いている際に、建築用語などが飛び交っていたため、きちんと用語を把握しておくことで会話をスムーズに進めることができ、そのことの理解も深められたのではないかと思います。実際に、私の勉強不足ということもあり、何度か用語を聞き返してしまうこともあったため、その度にきちんと勉強しておけば良かったと反省しました。



以上の点も含め、今回の経験は私達にとって良い経験になったと思います。どういう過程を経て建物が建てられているのか、どんな仕事があって、どんな役割があるのかを知りました。これから就職を控える私達にとって自分の進むべき道を選ぶ際の判断材料の一つとなると思います。

青年委員会 事業報告 ～楽しく活動しています～

夏の自然観察会 レポート

去る8月21日(水)に馬見丘陵公園にて、「公園で遊ぼう！自然観察会」を行いました。



たくさん子どもたちとその保護者の方々が参加してくれました。参加者72人、スタッフもあわせると90人ぐらいです。

午後4時から6時までと短い時間ではありましたが、講師にテレビなどでお馴染みの谷幸三先生にお迎えして、最初30分、植物や昆虫の話をして頂き、その後馬見丘陵公園内の散策に出かけました。

当日は晴天で、よく言えば観察会日和、悪く言えば猛暑でしたが、子どもたちは公園内を散策、昆虫採取を行い、谷先生が、見つけた植物、昆虫の生体についての解説や、へえ～と驚くおもしろ話を披露してくれました。

バッタやコオロギ、トンボに蝶々、色々な葉っぱやどんぐり、子どもたちは次から次へと谷先生に見せては話を夢中に聞いていました。あっという間に1時間が経ちました。

最後、この事業に参加してくれた記念として、子どもたちに「オリジナルしおり」を作成してもらいました。

自分達で集めた葉っぱをきれいに飾りつけし、絵を描いたりシールを貼って、みんなでワイワイ楽しく作っていました。後日、スタッフがラミネートして集合写真と一緒に送りました。

夏休みの自由研究、植物や昆虫に興味をもってもらう為に行った事業でしたが、自然との共生を考えるきっかけになったのではないかと思います。

奈良県は水と緑の宝庫です。今後も、馬見丘陵公園以外にも奈良公園や橿原公苑、竜田公園や生駒山麓公園、色々なところでこのようなイベントを行って子どもたちの笑顔でいっぱいにしていきたいと思っています。

(記・青年委員会 徳本 豊)

2013年 大和さくら万葉まつり レポート

去る9月7日(土)に私達、青年委員会は「大和さくら万葉まつり」に参加してきました。

この祭へは住民の方々との交流を通じて、建築士会をPRすることを目的に参加しております。

1. 参加概要

青年委員会は、地域イベントに参加するためのツールを用意しており、今回は「カヌー乗船体験」「木のパズル体験」「マグネットバー、三つ折チラシの配布」「青年委員会活動DVDの放映」といった活動を通じて、住民の方々と触れ合うことができました。



2. 参加してみた感想

私にとっては今年が初めての参加でした。「木のパズルブース」の担当となっていたのですが、当日を迎えるまで具体的に何をすればいいのかわからずイメージできていませんでした。ところが、仕事の都合で祭り開始から1時間程遅れて会場に到着したところ、すでにブース内は「木のパズル」に挑戦する子どもたちで満席になっていました。

早速、子どもたちの間に入って「木のパズル」組み立てのお手伝い。しかし、すぐに子どもの好奇心を邪魔せず、ヒントを出すのが難しいと痛感。自分で考え、自分でパズルを解いたと思ってもらいたいと思い、「向きを換えてみたら」とか「こっちとこっち入れ替えたなら上手いかな」といったアプローチでサポートしてみました。上手くサポートできたかは自信ありませんが、何度も挑戦したいという子どもたちが多くいたので、楽しんでいたのだと思います。

3. 終わりに

今後も地域の活動に参加するなどして、より多くの方々に建築士会を知っていただけるよう、PR活動を積極的に行っていきたいと思っています。

最後となりましたが、当日を迎えるまでにご協力をいただきました多くの方々に感謝申し上げます。



(記・青年委員会 三谷由香)





青年委員会 事業案内 「大人の工場見学会」を 11月27日(水)に行います。

三重県建築士会との合同見学会 レポート

去る9月14日(土)に三重県建築士会との合同見学会を行いました。

今回は名古屋城本丸御殿の復元現場を見学させていただきました。

当日は名古屋市役所職員の方の解説を聞きながら、現在、工事を進めておられる第二期・第三期工事部分の本丸御殿の素屋根内部の作業状況や木材加工工場及び原寸場の見学をさせていただきました。

作業場はきれいに整理整頓され、作業される方の復元工事に対する思いが伝わるような作業場でした。また、伝統建築特有の組継手の展示などもあり完成後は見ることができない見学体験をさせていただきました。

その後、素屋根内部に本丸御殿を約9m上から見学できる見学通路より現在進行形で作業されている状況を見学しました。見学通路には各作業工程の詳しい説明などもあり、建築に関してある程度の知識のある方だけでなく、全く建築に関して予備知識のない方でも楽しく建築現場の見学をできる配慮がなされていました。素屋根内部の見学通路を通り抜けると出口のそばにある工事見学コーナーにおいて土塗り壁の詳しい模型や木材の断面模型などがあり、城郭建築にどのような木材が使われていて、どのような細かい細工がなされているのかなど復元工事に伴う研究結果などが詳しく展示されていました。

最後に現在公開されている本丸御殿の玄関及び表書院の見学をしました。一般の見学の方も数多くおられ、復元されたばかりの絢爛豪華な表書院の内装や細かな細工のされた金具など感動しきりの見学会でした。

見学会後は近くのお店で懇親会を行いました。我々奈良県建築士会青年委員会と三重県建築士会の方々の他に京都府建築士会や愛知建築士会の方も参加されており、総勢約30名にも及ぶ懇親会となり、地域を超えた交流を深めることができました。

今後も三重県との合同企画を行うとともに、他府県の建築士会の方にも声をかけることにより、幅広い交流を行っていききたいと思います。

(記・青年委員会 藤山昭生)



この度、青年委員会では、下記内容にて「大人の工場見学会」を企画いたしました。

今回は、新築されたばかりのリクシル上野緑工場(伊賀市西明寺2820)を見学後、普段は立ち入ることのできない**近畿車輛 車輛製造工場**(東大阪稲田上町2-2-46)を特別に見学させていただけることとなりました。

また、昼食には伊賀牛の焼肉ランチをご用意しております。充実した一日にいたしますので、多数のご参加、お待ちしております。

【見学会の見所】

○リクシル上野緑工場

今春に完成したばかりの最新ユニットバス製造工場をご覧ください。

製造～梱包～輸送までオートメーション化された製造一貫ラインや精緻なロボットの動きが見所です。

○近畿車輛

普段は鉄道関連業に従事する方しか見ることができない電車の製造工場を特別に見せていただけることとなりました。車輛部品の製造から、完成に至るまでの各工程を間近で観覧いただけます。

【開催概要】

○日時：11月27日(水)(全工程チャーターバス)

○AM8:30 集合 ○PM7:00頃 解散

○集合場所：天理駅東側改札口出すぐタクシー乗場
ロータリー付近(建築士会の旗を目印にしてください)

○定員：30名(先着順)

○募集対象：奈良県建築士会会員及びそのご家族・ご友人

※工場内は危険な場所がありますので、15歳以下の参加はご遠慮願います。

○参加費：会員及びその家族：2,500円

会員外(ご友人)：3,500円

(昼食代、保険代込み、当日、徴収させていただきます)

○応募締め切り：11月15日(金)まで

【申し込み方法】

下記事務局までご連絡願います。

折り返し、担当者より連絡させていただきます。

(一社)奈良県建築士会事務局

T E L : 0742-30-3111 F A X : 0742-33-4333

※詳細工程などについては、奈良県建築士会ホームページをご覧ください。



『大和・町家サブリース PROJECT in 郡山城下町』の実施 ～広がりつつあるヒト・コト・モノのつながり～

奈良にはいたるところに優れた町家が残されています。「大和・町家サブリースPROJECT」は、町家の所有者の方に町家を期間限定でご提供いただき、借り主とともに新しい町家の価値や活用方法を見つけていくプロジェクトです。国土交通省委託プロジェクトとして大和・町家バンクネットワーク協議会の主催で行われた昨年に引き続き、今年は郡山城下町を舞台に、筆者も参加している地元のまちづくり団体「くらす*」(※1)が実施主体となって行うことになりました(期間：9/21～11/17)。

郡山城下町には、数が減ってきたとはいえ、今なお多くの町家が残し、商店街には町家の軒先をハイカラに改装した、住居と店舗が一体となった看板建築も多数存在しています。一方で、これらの建物の中には様々な事情で使われず空き家になっているものが多いのも現状です。このような、一見して分かりづらい建物の魅力を多くの人に伝え、建物やそれに関わるヒト・コト・モノの新陳代謝がうまく進めば、「人々の営み」としてのまちの魅力はより深まっていくのではないかと考え、このプロジェクトに取り組んでいます。

本プロジェクトでは、奈良県建築士会郡山支部が実施した町家調査の結果や、柳町商店街・堺町商店街の方々等との意見交換を通じて空き町家を抽出し、建物所有者の方に本プロジェクトへの参加協力を依頼、8月からはFacebook等でサブリース対象建物の情報公開や内覧会、マッチング等を行いました。

また、くらす*は本プロジェクト以外にも「夕涼み大会」(洞泉町一帯：8/24～25)や「大金魚博覧会」(浅井邸酒蔵：9/21～23)を主催し、「奈良・町家の芸術祭HANARART2013」(※2)では郡山城下町地区の実行委員として地域のサポートをしていることもあり、各イベントとの連動企画も実施、対象建物を駄菓子屋や作品制作・展示の場として利用したり、建物活用希望者にイベント会場出張カフェを開いてもらったりもしました。

本プロジェクトでは、単に空き町家と活用希望者をつなぐだけでなく、そのプロセスにおいてヒト・コト・モノの新たな出会いの“場”となることも狙いの一つとなってい

ます。縁あって郡山で出会った人たちが、地域での日々の営みや地域との関わり方等について、互いに思いを語り合うことで新たなアイデアや展開を生み出しながら、緩やかにつながり、徐々に地域に馴染んでゆく…一人一人が出来ることには限りがありますが、本プロジェクトをはじめとした様々な人達による様々な取り組みを通じて、様々なつながりをもった活動の輪が広がりつつあります。



HANARART(こあ)会場とサブリース対象建物



サブリース対象建物活用の様子

※1：くらす*は、金魚の養殖業の盛んな大和郡山市の地域資源を活かした地域活性化に取り組み、町家や空き家の利活用を行っているまちづくり団体です。大和郡山市内の城下町において、それぞれの視点から“まち”に関わっていたメンバー8名(デザイナー、大学生、地域貢献に取り組む企業人、建築士、公務員)によって2013年2月に結成しました。

くらす*のホームページ：http://kurasuto.tumblr.com/

※2：郡山城下町地区の開催期間は10/12～20

(記・郡山支部 何左昌範)



教育事業委員会・女性委員会・青年委員会

初秋の美を巡る信州旅

～美しいまちなみ&心休まる自然の中の美術館～

初秋の陽光に照らされた小笠原資料館は森のなかにひっそりと佇んでいたけれど、微妙なカーブを孕んだソリッドなその独特の造形がなんとも言えず中性的だなと感じたのは果たして私だけであろうか。もっと具体的に言えば、離れて見ると角ばって男性的であるのに、近づくとも曲面ばかりが印象に残るのである。最近のある雑誌によると「発注したい設計事務所ランキング」で1位に輝いていた妹島和世建築設計事務所はその企画力とデザイン力を評価されているようであるが、妹島マジックがあるとすれば無機質な素材をありきたりな手法を使わず調理し、視点を変えれば全く違った印象を与える不思議な建築を創ったところにあるのだろう。一言で「素晴らしい!」とたたきつけるつもりはないけれど、少なくとも中に陳列された小笠原家の遺物よりは印象に残るものであったことだけは確かである。



軽井沢千住博美術館はそれから約10年後に建築された西沢立衛の作品である。こちらは床も壁も家具も何もかもが曲線ばかり。こうなると女性的というより次々と姿を変える異次元の生物のようだ。千住博氏のことは勉強不足で全く知らなかったが、どうやら「滝」をテーマにした作品を手がける日本画家であるらしい。こちらは作品の方に心が奪われた。建築を賛美するとすればその力強い展示物を、威嚇しないように柔和に融合させた「存在感」を感じさせない室内空間であろうか。



旧軽井沢三笠ホテルと重伝建保存地区海野宿はこの国が最も日本らしかった時代の記憶を伝える重要な遺産である。明治建築や格子やうだつも知識としてはよく知っていても、実物に接すると先代の叡智にただ感服するばかりである。海野宿については表通りが生活道路として重要なアクセス道となっており、自動車がひっきりなしに通行するようになっていたことはいささか残念ではあるが、まるで今ある

かのように建物はしっかりと保存されていて、古き良き時代にタイムスリップしたかのような貴重な経験ができた。



旧小笠原書院はさらに古い時代の遺産であるが、御年83歳の案内人の講話をもっと真剣に聞くべきだったと後悔している。書院造と言ってもその形式だけでなく、素材や壁の塗り方、木組みから柱の面取りに至るまで考えつくされた知恵の集積であると改めて感銘を受ける。



ごく個人的な感想ではあるが最後に見た塩沢湖を囲むペイネ美術館と軽井沢タリアセンはファンタジーに満ちた昭和初期の建築博物館として純粋に楽しめた。あいにくの小雨ではあったが、おかげで空気は澄んで長旅の疲れを癒してくれた。最後にリフレッシュが用意されているのが心憎い。屋外テントでのバーベキューも楽しかった!

これが教育事業・女性・青年委員会3委員会合同見学会「初秋の美を巡る信州旅」の全貌である。やっぱり参加して損はなかった。次回もきっと参加しよう。



(記：教育事業委員会・青年委員会 吉田泰造)



観光化する商店街!! 天神橋筋を歩く 第33回近畿建築祭（大阪大会）のご案内

第33回近畿建築祭（大阪大会）を下記のとおり開催いたします。

今回、大阪府建築士会では、日本一長い天神橋筋商店街を中心に、大人も子供も楽しめる、盛りだくさんの企画を考えました。

大阪商人の知恵とバイタリティあふれる天神橋筋商店街にぜひこの機会にお越しください。

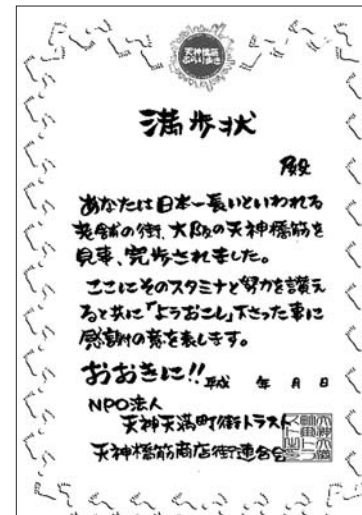
近畿建築祭（大阪大会）に多数の皆様が集うことを心からお待ち申し上げます。

開催日 2013年12月7日(土)

会場 関西大学天六キャンパス309教室
大阪市北区長柄西1丁目3番22号
阪急電鉄及び地下鉄堺筋線・谷町線
「天神橋筋六丁目」駅下車、北へ徒歩5分。



エキスカージョン後、参加の方には、お名前の入った満歩状をお渡します！



スケジュール

- 9:00~10:00 受付
- 10:00~10:15 オープニング 扇町総合高校ブラ・マーチング (OHGIES) 演奏 (予定)
- 10:20~10:40 記念式典
 - ・開催地会長挨拶 大阪府建築士会会長 岡本森廣
 - ・協議会会長挨拶 京都府建築士会会長 衛藤照夫
 - ・会旗引き継ぎ
 - ・次期開催地会長挨拶 兵庫県建築士会会長 安田丑作
- 10:40~11:30 基調講演 天神橋筋商店街会長 土居年樹氏
テーマ「街が危ない、家庭が危ない、店が危ない」
—日本の街づくり、街活かしは誰がする—
- 11:30~ エキスカージョン①②コース参加者は移動
- 11:45~12:30 講演会 関西大学准教授 橋寺知子氏
テーマ(仮) 関西大学天六学舎(近代建築)の経緯
- 12:30~ エキスカージョン③④⑤コース参加者は移動
- 17:00~17:30 閉会式 満歩状授与式 大阪天満宮境内

式典参加費 3,000円 (おみやげ、昼食付き)

■エクスカーシヨンのご案内（式典参加費含）

タイトル ★健脚度	内 容	参加費／定員
①天満天神繁昌亭&街歩き ★★ 11：30～17：00 	上方落語の唯一定席寄席 「繁昌亭」で大阪を楽しもう 建設費用は寄付金で賄った「繁昌亭」。募金をした人々の名前の提灯が天井に並べられています。大塩平八郎の史跡めぐり、他。	4,500円 （食事券付） 60人
②八軒家浜から電気船ツアー &街歩き ★★ 11：30～17：00 	世界初のリチウムイオン電気船で 大阪を眺めよう!! 環境にやさしいオールアルミ、リチウムイオン電池の電気船で水都大阪の舟遊びを楽しみましょう。 八軒家浜から大阪城や東横堀川、道頓堀川を歴史や由来を聞きながらのクルーズ。 静かな川面から約一時間半、雑踏の大阪を眺めてみませんか!! 案 内：伴 一郎氏（伴ピーアール株式会社）	5,500円 （食事券付） 38人
③ガイドと共に歩く街歩き ★★★★★ 13：30～17：00 	知恵とバイタリティも日本一！ ガイドと行く天神橋筋商店街物語 日本一長い商店街が、どうして今まで賑わいを保っているのか？その理由は大坂商人の知恵とバイタリティにあります。今回は普段は気が付かない街の中に隠された知恵とバイタリティの物語を元気のガイドと一緒に発見していきます。大坂人も知らないディープな天神橋筋を楽しみます。 ガイド：上田聖子氏 （トークスタジオ ハーモニービューロー代表 ナレーター）	4,000円 （弁当付） 60人
④住まいのミュージアム&街歩き ★★★★★ 13：10～17：00 	平成の天神橋筋商店街から、江戸の町並み、 昭和の暮らしへタイムスリップ!! 平成をにぎわう天神橋筋商店街から、大阪暮らしの今昔館で、大坂の昔へタイムスリップ!! 昔の人の知恵や工夫を体感し、いまの住まいや暮らしを見つめなおしてみませんか？ 講演 明珍健二花園大学文学部教授 （元住まいのミュージアム学芸員） テーマ 大坂の町の成り立ち その後、住まいのミュージアムに移動・見学 大工棟梁による古式大工道具の実演	3,500円 （弁当付） 100人
⑤スタンプラリー!! ★★★★★ 12：30～17：00 	大阪の肝!! こってこてスタンプラリー 天神橋筋商店街は日本で一番キョリが長い商店街。ここが大阪の肝！ キレイなもん、きちゃんいもん、静けさと賑やかさ、大阪のイエとこがギュッと詰まっています。 スタンプラリーで大阪のエッセンスを巡って楽しもう!!	3,500円 （食事券付） 50人



奈良支部

国宝薬師寺見学会レポート

8月23日、に「奈良歴史的建造物・風土研究会」第2回の国宝薬師寺東塔保存修理見学会に参加させていただいた。建築士会主催のこういった催しは以前から興味があったのだが、都合がつかず参加できずにいた。今回、近場での見学会ということで、運よく参加できることとなった。

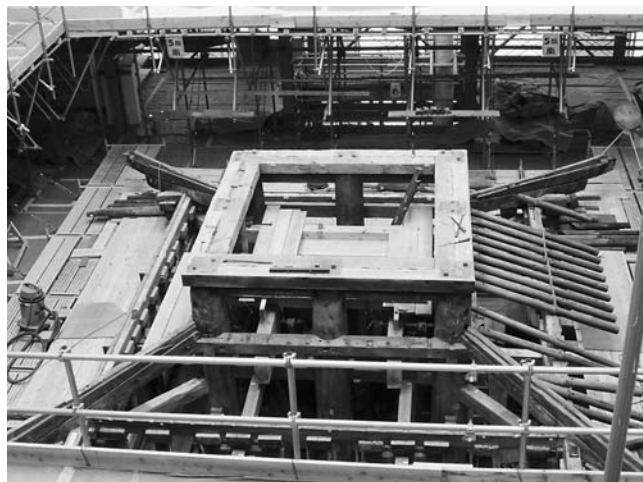
そもそも国宝に指定されるような建造物の大規模な保存修理の過程など、一生のうちでもなかなかお目にかかるものではない。当日は期待を膨らませ会場に向かう。

入場すると、平日の昼間にも関わらず観光客でにぎわう様子が見られた。周辺には目立った施設もなく、電車やバスの便からいってもさほどアクセスが良いとは言えない。故にここにきている人々はまさに薬師寺・唐招提寺の拝観を目的しているのだろう。そういった人々で賑わう風景を目の当たりにすると、やはり薬師寺というのは貴重な文化遺産なのであると実感する。

当日は薬師寺のイベントなどと重なっていたようで、現場担当者や薬師寺の方が来ていただけるまでしばらくの時間があつた。最初に建築士会の乾井氏より、薬師寺の詳しい説明をしていただいた。「一見、六重塔に見えるが実は三重塔である」というのは、以前にも聞いたことがあったのだが、知らなかった事実も多く参考になった。特に東塔が730年の創建当時から唯一現存する遺構であるというのは大変感慨深い。歴史の中で多少の修繕がなされてきたとはいえ、1300年余りの間、災害をも免れて建造物として後世に姿を残すという事実…「木材」の建材としての耐久性の高さに驚かされる。

見学が始まり中に入ると、スロープの通路からの見学のみで、近づいて見ることはできないようであった。最上階に着くと、三層目裳階の解体の様子が見学できた。私が普段目にする解体工事というのは、埃の中を重機で解体し、大まかに分別・小割りにしたものをダンプに積んで搬出といった流れで、とにかくせわしなく進める感じであった。しかし文化財の解体というのは、まったく異なるものであった。建物を保存することを目的とした解体であるので、当然といえばそうなのだが、とにかく時間の流れが全く違う。少人数で慎重に、時間をかけて行っていくのである。解体された瓦などは丁寧に分けられて整然と並べられ、下地の土のような物までも袋に入れられ保管されていた。木造の構造部材を外したほぞ穴や釘穴などはチョークでマーキングされていた。このマーキングは現況で使われていない釘穴を区別するためのものらしく、創建当初の組み方と改修時の組み方が異なることを示す手がかりになるらしい。建物を解体していく様子は、まるで立体パズルを解いていくようにも思える。部材の組み方により絶妙なバランスを

保っていたからこそ現代まで変わらぬ姿を残すことができたのであろう。



直近の大改修でも100年以上前だというのに、それ以前の材料を構造材としてそのまま利用できるのだそう。今回の改修でも使用できる部材は極力使用していくということであるので、虫食いなどの被害さえなければ半永久的に使用できるのではないかとと思われる。木などは生物であるので、「いつかは朽ち果てて…」というイメージがあるのだが、これほどまでに耐久性を持つことに驚いた。

見学の後、いろいろと興味深いお話も聞けた。屋根部分に関して、瓦を撤去した際に軒高が少し上がったというのである。瓦は立派なものが葺かれており、下地も合わせるかなりの重量がかかっていたようで、長い歴史の間に軒先が少しずつ下がっていったようだ。このことにより、下がり続けてはいるが破断しない木材の性質を見抜き、複雑な構造と造形の美しさを兼ね備えた建物を構築する当時の人々の技術力の素晴らしさを感じずにはいられない。

文化財構造物の改修工事はなぜ長い年月がかかるのであろうかと疑問に思っていたが、今回の見学で少し謎が解けた気がした。それと同時に文化財の改修というのは、大変な労力が必要な反面、歴史のロマンを感じられる貴重な仕事だと感じた。

(記・中川淑美)





お知らせ

Information

●次期会長推薦の手続きについて

(一社)奈良県建築士会定款運営規則(平成25年4月1日施行)第7条第2項第2号の規定により、平成25年11月1日(金)から11月30日(土)までの間で、会長立候補者の受付を、当士会 総務・企画委員会(委員長 鈴木猛夫)で行われますのでお知らせします。

※締切 11月30日(土)午後4時まで。

●平成25年度建築士試験「合格発表」日程のご案内

- ①二級・木造建築士試験 12月5日(木)頃
- ②一級建築士試験 12月19日(木)頃

●平成25年度 インテリアプランナー試験案内

頒布期間・受付期間・申込方法：終了しました。

試験日	試験の区分	時間
平成25年 11月17日(日)	学科試験	9:30~11:00 (1時間30分)
	設計製図試験	12:00~18:00 (6時間)

合格発表：平成26年2月20日(木)頃

※試験に関するお問い合わせ

(公財)建築技術教育普及センター 近畿支部

T E L : 06-6942-2214

●平成25年度名刺交流会のご案内

恒例の新年名刺交流会を開催致します。

是非ご参加ください。

- 1 開催日時 平成26年1月10日(金)
17:00~19:00(受付16:30より)
- 2 開催場所 奈良ホテル「大和の間」(奈良市高畑町1096)
- 3 参加費 10,000円(当日受付にて)
- 4 申込締切 12月20日(金)

●奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会

(更新及び新規登録)

開催日 平成26年1月23日(木)

会場 奈良県文化会館 小ホール 定員 150名

※詳細・申込については、後日ご報告致します。

※会場へはできるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

●第33回近畿建築祭(大阪大会)のお知らせ

近畿建築士会協議会恒例の近畿建築祭、第33回大阪大会が下記のとおり開催されます。各会員の皆様方には多数のご参加を頂きますとともに、大会運営にもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催日時 2013年12月7日(土) 受付 9:00~

会場 関西大学天六キャンパス309教室
(大阪市北区長柄西1丁目3番22号)

阪急電鉄及び地下鉄堺筋線・谷町線

「天神橋筋六丁目」駅下車、北へ徒歩5分

日程 午前 第1部 式典・講演

午後 第2部 エクスカーション

参加費 3,000円

※申し込みは、10月21日(月)で締め切らせていただきました。

※詳しい内容は、チラシ(10月同封済)をご覧ください。

●ユニバーサルデザイン講演会のお知らせ

今年8月、「パーキング・パーミットについて」デンマークのユニバーサルデザイン視察に行かれた内容について、デンマークの現在の様子をパワーポイントで、また日本のユニバーサルデザイン、特にパーキング・パーミットの現状についてお話しをしていただきます。

演題「パーキング・パーミットについて」【CPD:2単位】

講師 八木三郎先生(天理大学おやさと研究所准教授 社会福祉学 天理市障害者施策検討協議会会長 他)

開催日時 11月7日(木) 18:30~20:30

開催場所 奈良建築士会館 1階会議室

定員 30名(先着順)

参加費 会員500円・一般700円(資料費含む)

申し込み 11月5日までにお願いします。

※お問い合わせは建築士会事務局まで。

●事務局休業日のお知らせ

(一社)奈良県建築士会事務局は、下記の期間を休業日とさせていただきます。

平成25年12月28日(土)~平成26年1月5日(日)

●訃報

会員の田中嗣郎氏(奈良支部)が去る9月7日に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏名	支部	〒	住所(自宅)	勤務先
松村 誠一	奈良	631-0842	奈良市菅原町402-6	奈良市役所

編集後記

士会奈良が本年度から隔月発行になり11月号が本年最後の発行になりますので、今年の印象に残った事に少々触れてみたいと思います。

まず何と言っても東京オリンピックの招致が決まったこと。おめでとうございます。(大阪で開催してほしいです！)

開催招致活動の中でいろいろな手法を考え、最終プレゼンテーションを行われました。その中で言葉の重要性を改めて教えられました。

私達日本人は昔から無言の理解が、美とされてきました。しかし、現在においては、はっきりとアピールする事こそが、正しいと言うようになってきま

した。特に世界にアピールする場合、言葉の表現力が重要になります。フランス人より綺麗なフランス語、日本人の精神“おもてなし”。などなど。

またプレゼンのなかで私が一番感銘したことは、佐藤真海さんの強い精神力でした。自分をマイナス思考に捉えずに1パーセントの可能性に挑戦するという。私もチャレンジ精神をこれからも持ち続けたいと思います。

なにはともあれ本年ももうすぐ終わります。あと2か月間悔いのない年を送りましょう。

(記・小松原寛俊)

士会奈良

通巻592号
平成25年11月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 福本良平
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

Calendar

2013年11月

- 2(土) 近建女見学会(京都府)
- 3(日) ☒ 文化の日
- 7(木) ユニバーサルデザイン講演会
- 9(土) 奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会
- 10(日) 建築模型講習会 第2回(青年委員会)
- 23(日) ☒ 勤労感謝の日
- 24(日) 建築模型講習会 第3回(青年委員会)
- 27(水) なら・すまいアップセンター住宅無料相談室
大人の工場見学会(青年委員会)
- 30(土) 奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会

Calendar

2013年12月

- 5(木) 二級・木造建築士試験合格発表予定
- 6(金) 理事会(奈良県社会福祉総合センター)
- 7(土) 第33回近畿建築祭大阪大会
- 14(土) 奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会
- 19(木) 一級建築士試験合格発表予定
- 23(月) ☒ 天皇誕生日
- 27(金) 事務局仕事納め(～1月5日)
- 31(水) 大晦日

一般財団法人なら建築住宅センター講演会

これからの街や建築物にかかる 防災・危機管理 ～個人の備えと組織の対応～

日時 11月17日(日) 13:30～16:05

場所 東大寺総合文化センター 定員 先着300名
金鐘ホール(奈良市水門町100)

参加無料



講師
防災システム研究所所長
山村武彦氏

♪当日は雅楽・フルート演奏もお楽しみいただけます♪

一般財団法人
なら建築住宅センター

お申込みは 電話 0742-27-6501
電話かメールで mail o-narabhc@nifty.com